

大阪府高等学校美術工芸教育研究会 【高校展会計】R3年度 収支報告

収入の部	予算	決算
高校展出品参加費(搬入出料含む)	¥2,500,000	¥2,013,700
賛助金	¥350,000	¥310,000
小計	¥2,850,000	¥2,323,700
予備費	¥2,891,881	¥2,891,881
利息	¥24	¥22
合計	¥5,741,905	¥5,215,603

支出の部	予算	決算
美術館使用料	¥805,000	¥801,440
会議費	¥140,000	¥0
事務費	¥100,000	¥75,400
通信費	¥10,000	¥4,485
運送費	¥18,000	¥1,000
派遣費(高校展アルバイト代)	¥170,000	¥133,000
共同搬入運送費	¥1,200,000	¥1,409,980
ポスター(ばがき印刷費)	¥110,000	¥111,540
賞状印刷費	¥18,000	¥22,844
高校展特集号制作費	¥100,000	¥68,840
高校展目録作成費	¥220,000	¥181,940
予備費	¥2,850,904	¥0
次年度会場費		¥392,620
合計	¥5,741,904	¥3,203,089

次年度予備費	¥2,012,514
--------	------------

以上の通り相違ありません。

2022年3月29日

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会

会計部長

郡山 鷹子 

会計監査

丸山 勉 

会計監査

羽鹿 守 

令和7年(2025年)第76回高校展 ここまでのポイントまとめ

※ 新しい点・変更点等に下線

《 会場 》 大阪市立美術館 天王寺ギャラリー 第1/2/3/4室

《 会期・日程 》 令和7年(2025年)7月23日(水)~7月27日(日)9:30~17:00(最終日15:00終了)

天王寺美術館下見	4/4(金) 時間未定	会場変更箇所・搬入出経路等を現地確認。高校展部会も併せ
生徒説明会	5/0(金)	・ブロックごとにオンライン会議を高校展部員が実施。
ブロック会議	5/30(金)or6/6(金)	・出品申し込み(各ブロックで開催)
出品目録提出締切	6/20(金)	・ブロック毎に決められた担当者へメールで提出
①出品校教員説明会 ②出品校教員会議	7/4(金) 会場未定	①初参加・他教科顧問の説明会+α ②全出品校顧問。出品料納入、変更手続き、係打合等
展示計画(割付作業)	7/5(土)9:00~17:00	港南造形高校
作品搬入 (↓大阪市立美術館)	7/22(火)12:00~16:00 ※ 12時より前は入館不可	・搬入・展示作業、金具・ゴム貸与、目録提出等
高校展 (↓)7/23(水)~7/27(日)9:30~17:00(最終日15:00終了)		
審査	7/23(水)9:15~17:00	
審査結果発表	7/24(木) 時間未定	・発表方法未定
表彰式	7/27(日)13:00~14:00	・優秀賞受賞者のみ (集合は12:30)
作品外す~梱包作業	7/27(日)15:00 会期終了 →15:00~17:00	※ 作品を外す~梱包作業のみ、会場外への作品搬出は不可(個人搬出も同じ)。詳細は検討中。
作品搬出	7/28(月)9:00~12:00 ※ 9時より前は入館不可	・搬出作業、金具・ゴム返却等

《 作品規定・壁面 》

- 絵画のサイズは、30号(長辺91cm以上)~120号(長辺194cm以下)とする。
- 絵画壁面の申し込みは1m~9m(高さの上限は3m)を基準。10m以上の申し込みを希望する学校は別途手続きが必要。絵画壁面の上限を22mとする。
※ 高さ上限3mだが、100号2段掛けや120号2段掛けについては検討中。30号は3段まで。
- 工芸壁面はm単位で申し込むこと。(高さの上限は3m)、壁面長の制限は設けない。

《 デザインテーマ部門 今年のテーマ 》 「明るい未来社会」

《 賞 》 優秀賞、奨励賞とする。優良賞は予定通り廃止する。集合作品賞は未定。

《 全国高等学校総合文化祭 》 1・2年生の優秀賞受賞者から翌年の代表を選考。

《 交流用紙・部推奨シール・特集号 》

- 部推奨シールは継続。
- 交流用紙は令和7年はなし。翌年以降は再検討。

- 特集号は内容を精査し、スリム化の方向で検討中。
- ※ 美術館にWi-Fiが設置予定だが、地下展示室での実用性不明。来年以降にフォーム等を検討。

《 会場マップ(仮称 旧サテライトマップ) 》

- 内容を変更し、研究会事務局が中心となり作成。

《 出品料・共同搬入出参加費の値上げ 》

- 〈 出品料 〉 来年度、令和8年に値上げ予定。今年度は告知のみ。
- 〈 共同搬入出参加費 〉 今年度、令和7年は(3000円から)6000円に値上げする。

〈 理由 〉 現状では、令和9年度を最後に高校展開催が不可能になるため。

〈 現状と試算 〉

- ① 高校展部試算によると、現状維持の場合、令和8年以降、単年で83万円の赤字が見込まれる。
- ② 令和6年度終了時の予備費(繰越金)は349万円(令和7年度美術館使用料は未納)。
- ③ 出品料納入前に必要な費用は105万円(美術館使用料・会議費・事務費・通信費・ポスターはがき印刷費等)。これは予備費から支払う。つまり、予備費残額が105万円を下回った時点で会計が破綻。
- ④ ①～③を元に試算すると、令和9年度終了時に予備費残額が104万円となり破綻する。
※ もし令和7年・8年に台風によるトラック留め置きが発生した場合、令和9年までもたない。

〈 高校展開催を継続するための対策案 〉

- 単年度で83万円の赤字を削減、もしくは補填しなければ破綻する。
- 出品料は30年以上、共同搬入出も開始以来約20年、どちらも値上げなし。→値上げはやむなし。
- 最大の要因は共同搬入出トラック費用の高騰。

◎ 下記の案1～案5を並行して実施する

案1、共同搬入出参加費の値上げ：3000円→6000円

約100校が利用。3000円の値上げで、約30万円の増収。

案2、共同搬入出のトラックを減らす。ブロック横断も含めたルートの特査、拠点校に事前搬入する、等。
・3台削減の場合、約25～30万の節約。

案3、トラック業者の再検討。

案4、出品料の値上げ → 実際の値上げは令和8年度度。令和7年度は告知のみとする。

出品料収入は約200万円。15～20%の値上げで、約30～40万の増収。

案5、会場マップ(仮称 旧サテライトマップ)の変更

・会場展示図ではなく出品目録にして納期の日数を確保する、通常の冊子にして印刷費を下げる、
広告を増やして増収する、等

※ 作品サイズの縮小は高校展そのものの縮小にもつながり避けたい、ということから今回の案では除いた。

令和7年度(2025年度) 第76回高校展以降の支出試算

資料⑤参照 R3(2021)年: 大阪市立美術館ラスト+コロナ2年目 にあたる
R6(2024)年: 分散開催(サテライト)ラスト

【 1、R7(2025)年 試算 】

R7(2025)年〈 収入の部 試算 〉

高校展出品参加費 (R3引用)	2,013,700 円	① 2,383,700 円
賛助金 (R6 引用)	370,000 円	
予備費 (R6 確定額)		② 3,485,527 円
収支合計 ①+②		③ 5,869,227 円

R7(2025)年〈 支出の部 試算 〉 ☆印:金額は R3 引用、★印:R3 修正、◆印:R6 引用

★美術館使用料	669,000 円
☆会議費	140,000 円
☆事務費	75,400 円
☆通信費	4,485 円
☆運送費 (資料運搬時の駐車場代のみ)	1,000 円
★派遣費(アルバイト費)	170,000 円
★共同搬入出運送費	1,700,000 円
◆ポスターはがき印刷費	27,220 円
◆賞状印刷費	29,437 円
◆高校展特集号制作費	75,000 円
◆高校展目録作成費(サテライトマップ・会場図)	176,000 円
予備費・次年度会場費用	0 円
支出合計	④ 3,067,542 円

- ★ 美術館使用料: 会期 5 日のため通常より1日分安い。
- ★ アルバイト: 最終日 15 時終了後の作業のため増員必要
- ★ 共同搬入出運送費: R3 より値上げにより2割増と仮定

R7(2025)年〈 次年度予備費(=繰越金) 試算 〉

次年度予備費(③-④)	⑤ 2,801,685 円
-------------	---------------

【 2、必要な予備費と単年の赤字額 】 ※ 前項1を基に試算します

《 必要な予備費 》

R7(2025)年の場合、出品料納入(2025/7/4)までに支払いが必要な項目の合計 試算

美術館使用料+会議費+事務費+通信費+運送費+ポスターはがき印刷費	⑥ 917,105円
-----------------------------------	------------

⇒ つまり、92万円の次年度予備費(=繰越金)が必要

R8以降は会期が通常(6日)⇒ 追加で1日分の会場・控室費用(132,000円)が必要

⇒ R8以降は 105万円 の次年度予備費(=繰越金)が必要

《 単年の赤字額 》

R7(2025)年の場合、(予備費を除いた)収支 試算

① - ④	⑦ -683,842円
-------	-------------

⇒ R7は1年で69万円の赤字(マイナス)

R8以降は通常会期

⇒ R8以降は1年で83万の赤字(マイナス)

【 3、R8(2026)年以降 試算 】

次年度予備費が毎年83万円ずつ減っていきます

R8(2026)年 終了時の収支

次年度予備費(繰越金)	約 1,870,000円
-------------	--------------

R9(2027)年 終了時の収支

次年度予備費(繰越金)	約 1040,000円
-------------	-------------

⇒ 105万円を下回り、(出品料納入前)支払いが不能となり破綻します。

⇒ R7やR8に台風でトラック留め置きになった場合、破綻が早まる。

※ 分散開催の3年間は幸い台風には当たりませんでした。大阪市立美術館で実施していたころは3~4年に1度、台風にぶつかっています。

※ R7からは暴風警報発令時、作品のみ館内に搬入は不可です。(以前は作品のみを教員のみで搬入となっていました) ⇒ つまり、トラックが1日余分に必要になります。

大阪府高等学校美術工芸教育研究会【高校展会計】75回展 収支報告

収入の部	予算	決算
高校展出品参加費(搬入出料含む)	¥2,000,000	¥2,396,800
賛助金	¥300,000	¥370,000
小計	¥2,300,000	
予備費	¥2,129,506	¥2,129,506
利息	¥15	¥90
合計	¥4,429,521	¥4,896,396

支出の部	予算	決算
会場使用料	¥0	¥0
共同搬入出運送費	¥1,300,000	¥1,061,513
DM・ポスター印刷費	¥100,000	¥27,220
事務費	¥50,000	¥990
派遣費(監視アルバイト代他)	¥0	¥0
記録写真代	¥0	¥0
賞状印刷費	¥30,000	¥29,437
高校展特集号制作費	¥75,000	¥75,000
会場図作成費	¥150,000	¥176,000
その他(会場費・共同搬入出以外のブロック支出合計)	¥100,000	¥40,709
	¥0	¥0
予備費	¥2,624,521	
合計	¥4,429,521	¥1,410,869

次年度予備費	¥3,485,527
--------	------------

以上の通り相違ありません。

2024年8月31日

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会

会計部長

古谷 明香